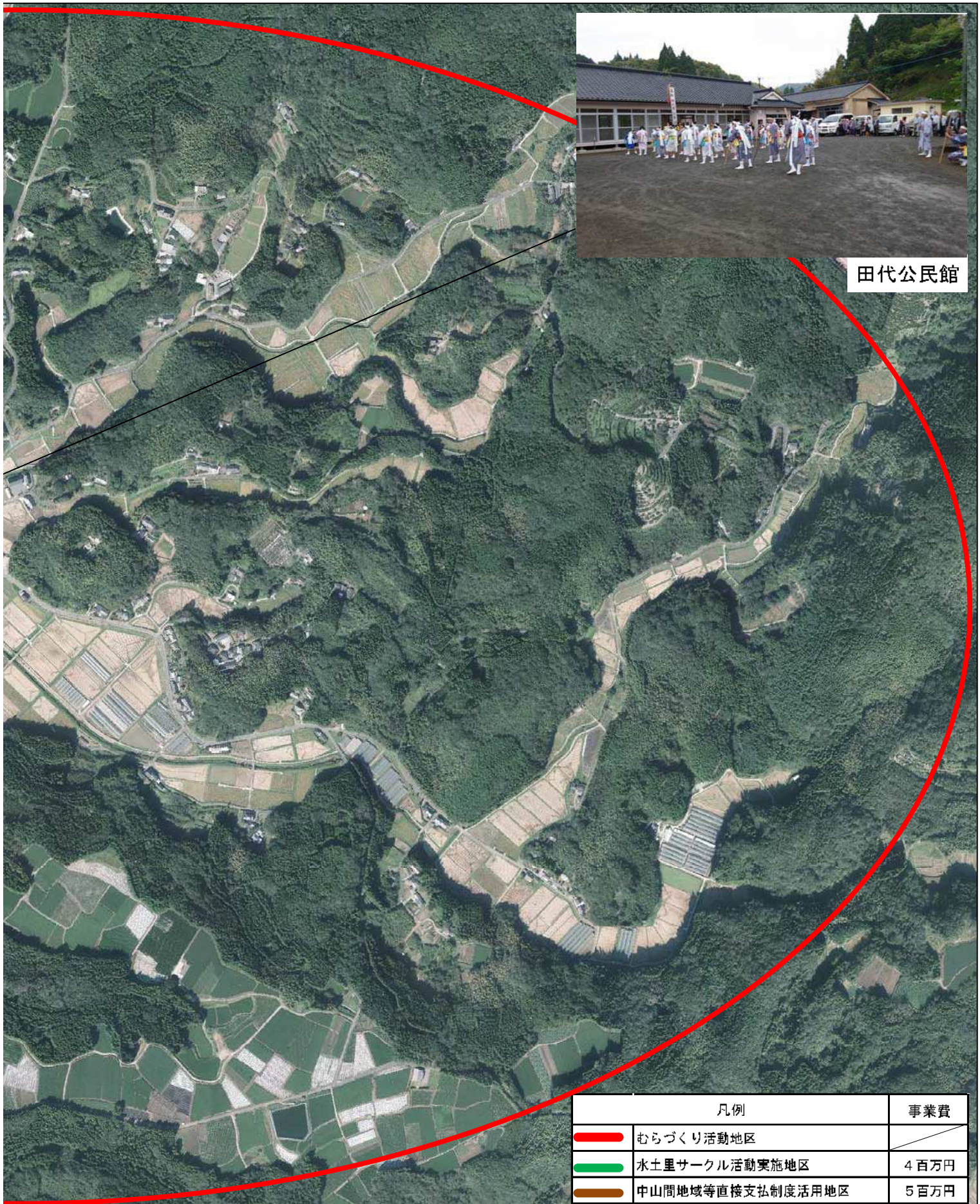


田代自治会活動状況マップ





※水土里サークル活動実施地区、中山間地域等直接支払制度活用地区は、
当むらづくり活動地区をすべて含みます。

特産品づくりで元気づくり

きよはら 清原地区（南さつま市）

背 景

坊津町清原地区は、南さつま市の南西部の中山間地にあり、水田はほとんどなく畑地での甘藷栽培やタンカンなどの果樹生産が主体である。若い世代も比較的多いが、農業の担い手は少なく、地域農業の衰退が大きな課題となっている。

そこで、平成20年に「清原校区地域元気づくり委員会」を設立し、各部会で地域の課題解決に取り組んできた。そのひとつとして、鳥獣被害にも強く、高齢者でも栽培しやすい作物として唐辛子に着目し、特産品として定着させようとする取り組みを始めた。

初めての唐辛子栽培を手探りで始めた時、鹿児島大学と連携したむらづくり活動の話があり、農学部と協力しながら取り組むこととなった。

活 動 内 容

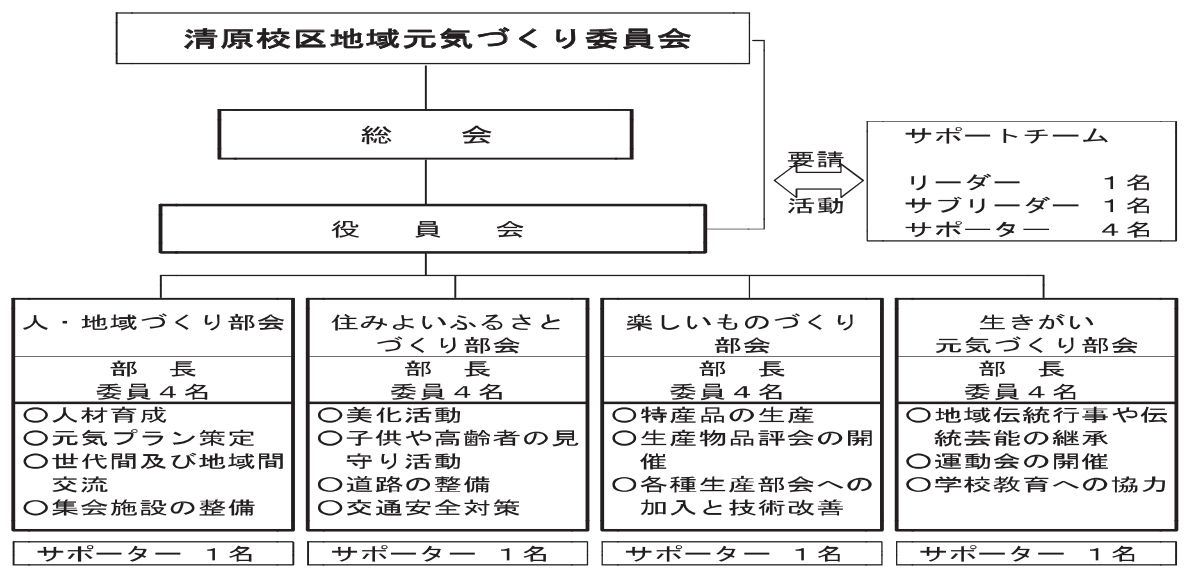
① 唐辛子の品種実証ほの設置

唐辛子の地域適性を確認するため、地域内に実証ほを設置した。野菜のように生で出荷できる品種や辛みの強い品種など6品種を試験した。



鹿児島大学農学部と唐辛子の定植

清原地区 組織体制図



② 先進事例研修

鹿屋市の花岡胡椒研究会に視察研修に行き、商品化の取組や栽培方法、台風対策など先進事例の取組を学んだ。



花岡胡椒の栽培方法を視察

③ 地域特産品づくり検討会の開催

地域では、1年前から既に2品種を選定し、「研農会」という地域の担い手農家の有志で試験栽培をしていたが、栽培技術確立が緊急の課題だった。鹿児島大学に協力をもらいながら、病虫害対策や台風対策などの課題の検討だけでなく、学生の唐辛子に関する研究や提案についても、現地検討や室内検討を行った。

また、『ねたろうスイカ』という冬瓜のような細長いスイカも栽培しており、特産品としての今後の展開方策等についても検討した。

成 果

唐辛子の実証ほは、今年度は定植が遅れたことや2回の台風の影響で十分な実証結果を得ることはできなかった。既存品種についても、加工や販路確保などに苦勞し、思ったような手応えではなかった。しかし、学生を交えた取組を重ね、交流していくなかで、この取組を1年で終わらせたくないという声が地元から挙がり、

来年度も継続して、鹿児島大学と協力しながら栽培技術確立や特産品づくりに取り組んでいく予定である。

今 後 の 展 望

地域の青年団「清援会」が主体になって開催する「清原納涼祭」には、およそ600人の地域住民のうち、毎年400人以上が参加するというほど地域住民のまとまりがよいことがこの地域の自慢のひとつである。

その自慢のひとつに、現在取り組んでいる特産品づくりで開発した新たな特産品を加え、地域の「元気づくりプラン」で目標とした地域の将来像の実現に向けて取り組んでいきたい。

地 区 情 報

構成集落

草野，茅野，鉦迫，平原（4集落）

人口構成

(1) 総人口531人
(65歳以上の割合42%)

(2) 総世帯数244戸
(うち農家戸数32戸)

総土地面積：552ha

耕地面積：20.57ha

主要作物：甘藷，豆類，たんかん

問い合わせ先

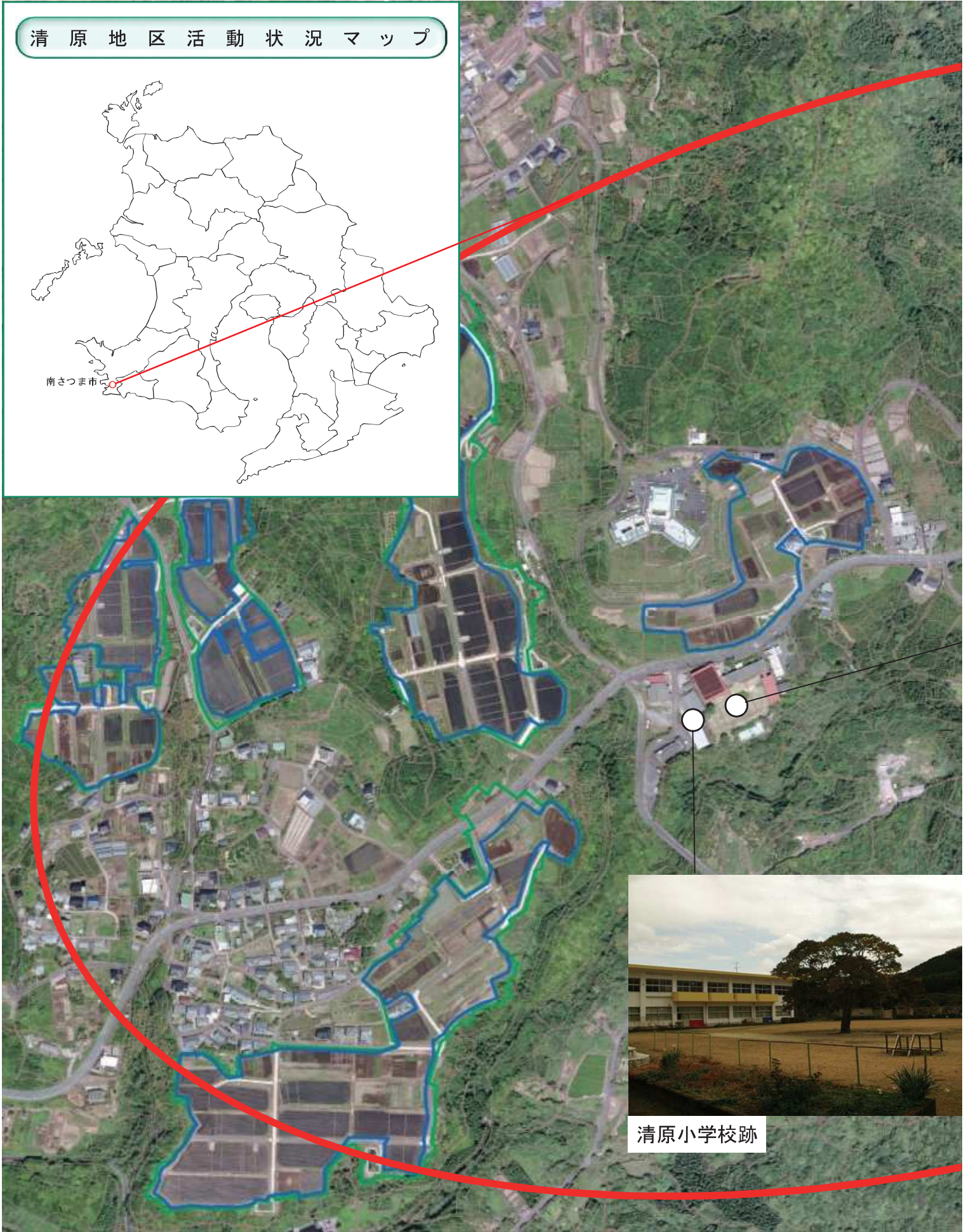
南さつま市農林振興課

電話番号：0993(77)1111(代)

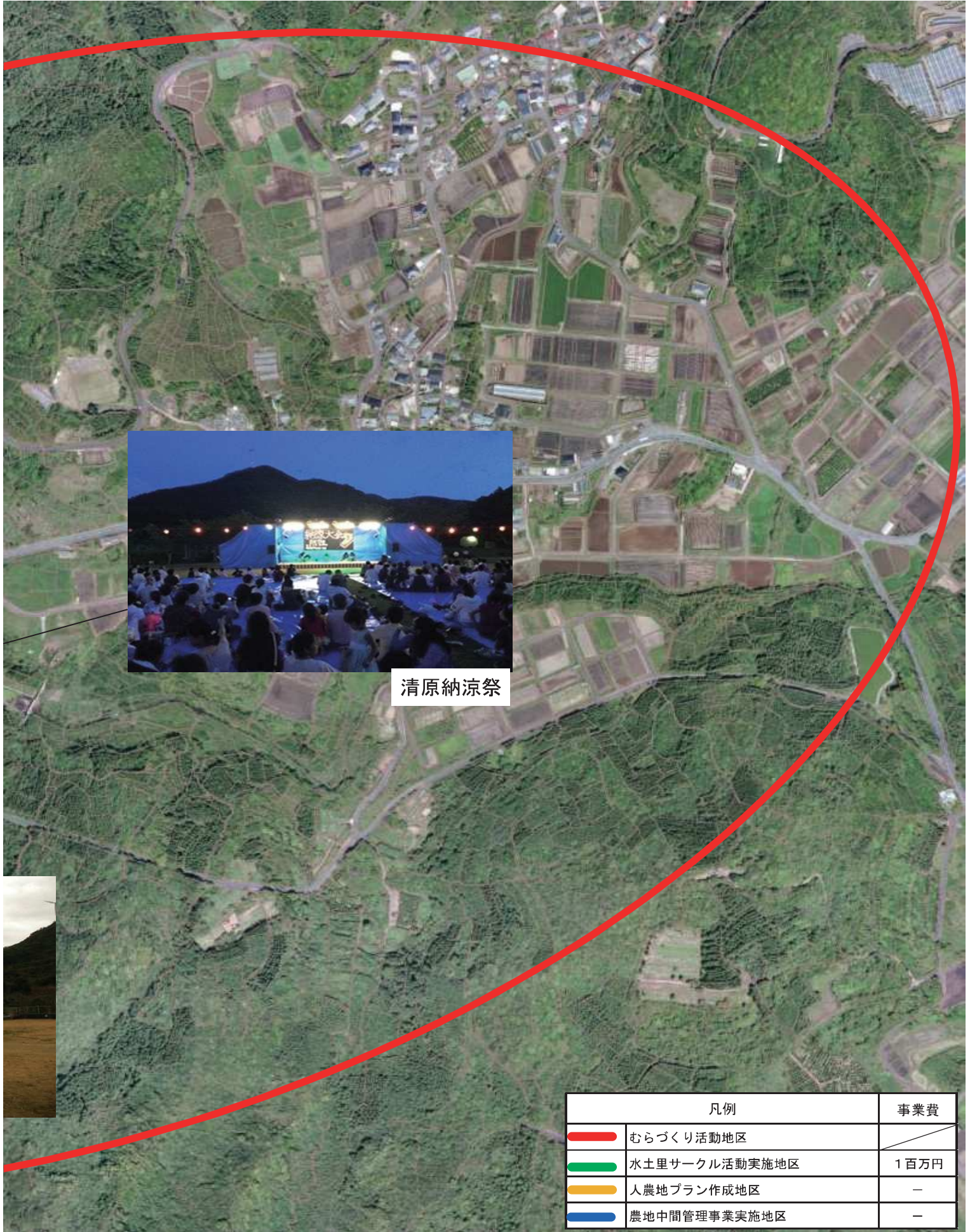
南薩地域振興局農林水産部農政普及課

電話番号：0993(52)1342





清原地区活動状況マップ



清原小学校跡



清原納涼祭

凡例		事業費
	むらづくり活動地区	—
	水土里サークル活動実施地区	1百万円
	人農地プラン作成地区	—
	農地中間管理事業実施地区	—

※人農地プラン作成地区は、当むらづくり活動地区をすべて含みます。

伝統を守り先人への感謝の気持ちを育むむらづくり

お ば る 小原地区（出水市）

背

景

小原地区は、出水市南部の標高約120mの高台に位置しており、米作りが盛んな農村地帯である。

地区の水田は約90年前、国有林約40haの払い下げをうけた住民が、人力で9年かけ開墾した。当時の苦勞と喜びの気持ちが、「味噌なめて晩のむ焼酎に毒はなし 煤け嬢に酌をさせつ」と刻まれた碑の一節に込められている。

記念碑の周辺は「味噌なめての碑公園」として整備され、公園からは市街地が一望でき、遠くは出水平野、長島、天草の島々も眺めることができる。

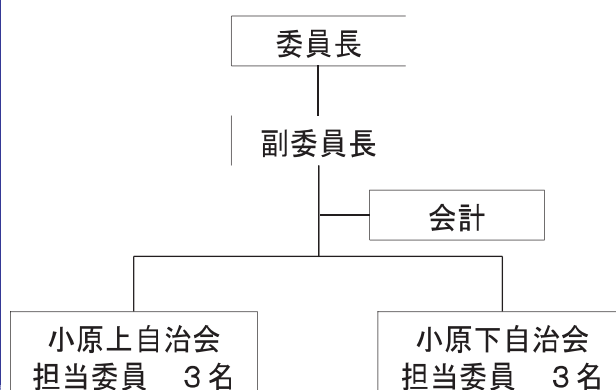
近年、耕作者の高齢化などによる遊休農地の増加や、少子化による伝統芸能の後継者不足などが地域の課題となっていた。

そこで、村を活性化しようと、平成13年に小原上自治会と小原下自治会で「小原地区村づくり委員会」を結成した。



味噌なめての碑

小原地区村づくり実行委員会 組織体制図



活 動 内 容

① 味噌なめて祭りの開催

平成13年から開催されているこの祭りは、「味噌なめての碑公園」で開催される。

子供や大人がマイクの前で、どれだけ大声を出せるか競い合う「大声コンテスト」や、地域に古くから伝わる伝統芸能である新地節の披露、また和太鼓演奏といった様々なイベントが催され、毎年大いに賑わっている。



新地節を披露する参加者

② 地区内の小中学生を対象とした農業体験

平成27年から、地区内の小中学生を対象に、田植えや稲刈り体験を行っている。収穫した稲は、「味噌なめての碑公園」に掛け干しされ、味噌なめて祭りの中でしめ縄作りに活用されている。



田植え体験の様子

② 地区内の子ども達を対象に田植えや稲刈りなどの農業体験を実施することで、農業の楽しさや大変さ、収穫の喜びを感じてもらい、地元の農業に対する理解促進が図られた。

今後の展望

今後も地区内の高齢化が進行し、人口が減少していくことが予想されるが、そのような状況においても、可能な限り味噌なめて祭りを継続して開催していきたい。

味噌なめて祭りや農業体験を通して、地元の人々の先人への感謝の気持ちや郷土愛を育みながら、小原地区の活性化と、地域内外の方々との交流促進に取り組んでいきたい。

成 果

① 毎年10月の第4日曜日に開催される味噌なめて祭りには、地区内外から多いときは約300人が集まり、地区内外の方々とのふれあいやコミュニケーションづくりの重要な場となっている。また地元産の米のふるまいや、伝統芸能の披露などを通して、地域住民の郷土愛を育んでいる。



味噌なめて祭りで賑わう参加者

地区情報

構成集落

小原上, 小原下(2集落)

人口構成

- (1) 総人口317人
(65歳以上の割合40.06%)
- (2) 総世帯数142戸
(うち農家戸数44戸)

総土地面積：約195ha

耕地面積：29.1ha

主要作物：水稲

問い合わせ先

出水市農政課

電話番号：0996(63)2111(代)

北薩地域振興局農林水産部農政普及課

電話番号：0996(25)5528



小原地区活動状況マップ



味噌なめての碑公園



青年の家

凡例		事業費
	むらづくり活動地区	
	中山間地域等直接支払制度活用地区	4百万円

桃源郷ふるさと佳例川づくり～交流と連携による地域おこし～

佳例川地区（霧島市）

背 景

霧島市福山町佳例川地区は、菱田川の源流域に位置し、田園とシラス台地の畑地が広がる人口321人の限界集落である。

澄んだ空気と気候を生かした水稲、畜産が盛んであるが、過疎化により人口は減り、65歳以上の高齢者が5割以上を占め、限界集落から消滅集落となってしまうことを危惧していた。

この状況を打開し、耕地を守るため、多面的機能支払交付金事業等を導入して、豊かな自然や文化が残る美しい農村を守る活動等に取り組んでいる。

活 動 内 容

① 幻のさつま芋「蔓無源氏」復活と活用

明治40年に発見され、第二次世界大戦を機に急激に生産が減り、昭和40年ごろには収穫量がなくなったと言われる地元産の「蔓無源氏」。鹿児島県の農業試験場に品種保存のため保管されていた苗をわずか10株分けてもらい復活させた。

復活に成功した希少芋を活用し、新たな地域の産品としてオリジナル焼酎「蔓無源氏」を開発した。

② 地域ブランド開発の取組

佳例川地区は、きれいな水と山間地の迫田でとれるおいしい「佳例川源流米」があるが、他地域との差別化が図れず、販売促進につながっていなかった。

新たな販売先の確保と付加価値を付けた高値での販売が課題になっていたことから、PR活動やパッケージの新規作成などの取組を行っている。

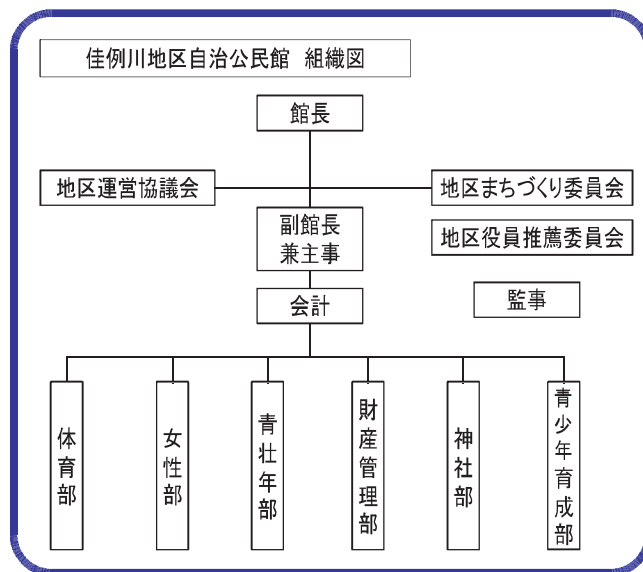
③ 大学との連携による地域伝統行事の復活とイベントの開催

むらづくりパートナーとして鹿児島大学農学部と連携し、様々な視点が得られた。文化面も重視して、伝統行事の「羽山祭り」の継承と「お田植え祭」を65年ぶりに復活させた。

また、佳例川地区を幅広い方々に知っていただくため、新米収穫期に合わせた「新米ウォーキング」の開催や約60年前に途絶えた、婚礼行事である「花嫁行列（仲人らが花嫁をもらいに訪ね、集落内をねり歩いて花婿宅へ届ける）」を復活させた。



お田植え祭の様子



成

果

① 地域ブランドの確立と周知

新たな地域産品として誕生した焼酎「蔓無源氏」をふるさと納税の返礼品として提供した。

また、自らの地域をより広く知ってもらうため大手航空会社と提携し、機内販売をしていただくようになった。航空機利用者によく「桃源郷ふるさと佳例川」をアピールするとともに、それらの収益を利用し、新たな地域活動を継続している。

② ふるさととの農地の荒廃を防止

さつま芋「蔓無源氏」の復活や、地域ブランド「佳例川源流米」等の作付けにより、遊休農地解消や耕作放棄地の防止に貢献し、環境保全に努めることで、活動資金源の確保にもつながっている。

③ 地域特産の実績

平成25年さつま芋「蔓無源氏」は第16回野菜ソムリエサミットで食味全国第3位を獲得。

平成25年から焼酎「蔓無源氏」は大手航空会社の国内線で、翌年は国際線で連続して機内酒として採用。

平成27年「佳例川源流米」をミラノ万博に展示した。



ミラノ万博の様子

今後の展望

今後も伝統行事（羽山祭り、お田植え祭など）の継承に努め、地域住民の連帯感の醸成と地域の魅力発信を図るとともに、新たな取組を模索し、若者が地域を誇りに思い、定着を望む地域を目指すことにより、地域活力の低下を防止していきたい。

空き家を活用した宿泊施設の整備及び地域特産品の販売促進に努め、持続的な農業生産活動に取り組むことにより、「交流と連携による地域おこし」活動を展開していきたい。



佳例川新米ウォーキング

地区情報

構成集落

福山町佳例川地区(10集落)

人口構成

(1) 総人口321人
(65歳以上の割合55%)

(2) 総世帯数181戸
(うち農家戸数38戸)

総土地面積：2,278ha

耕地面積：379.4ha

主要作物：水稻，さつまいも，飼料

問い合わせ先

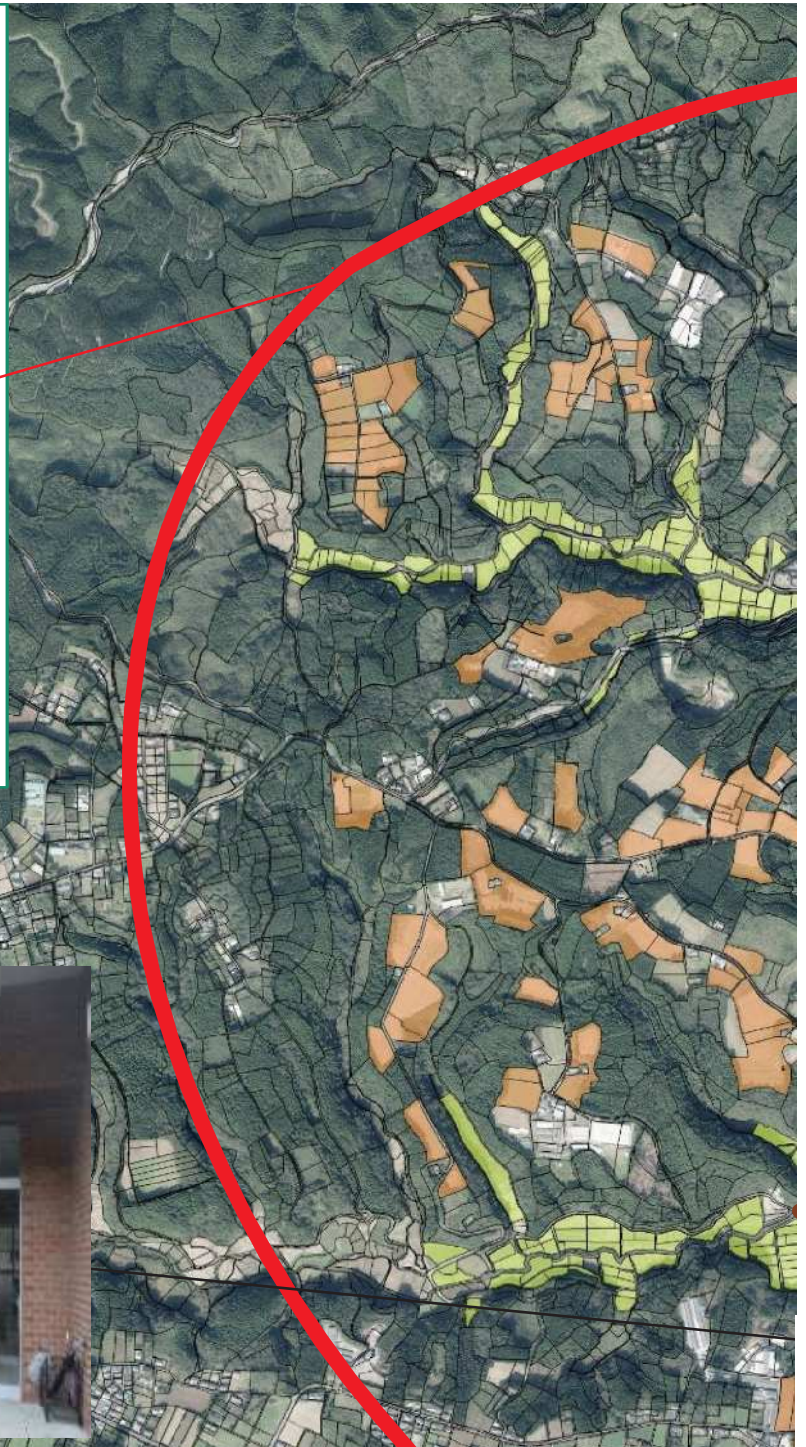
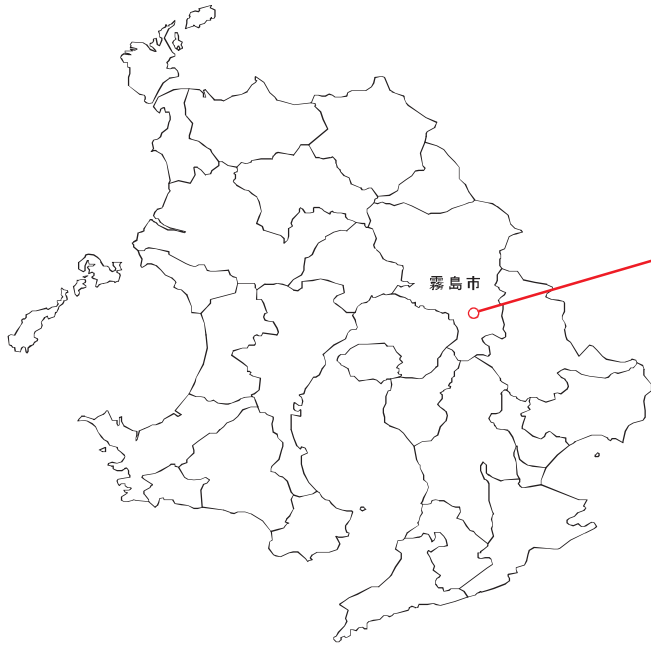
霧島市農林水産部農政畜産課

電話番号：0995(45)5111

始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課

電話番号：0995(63)8146

佳例川地区活動状況マップ



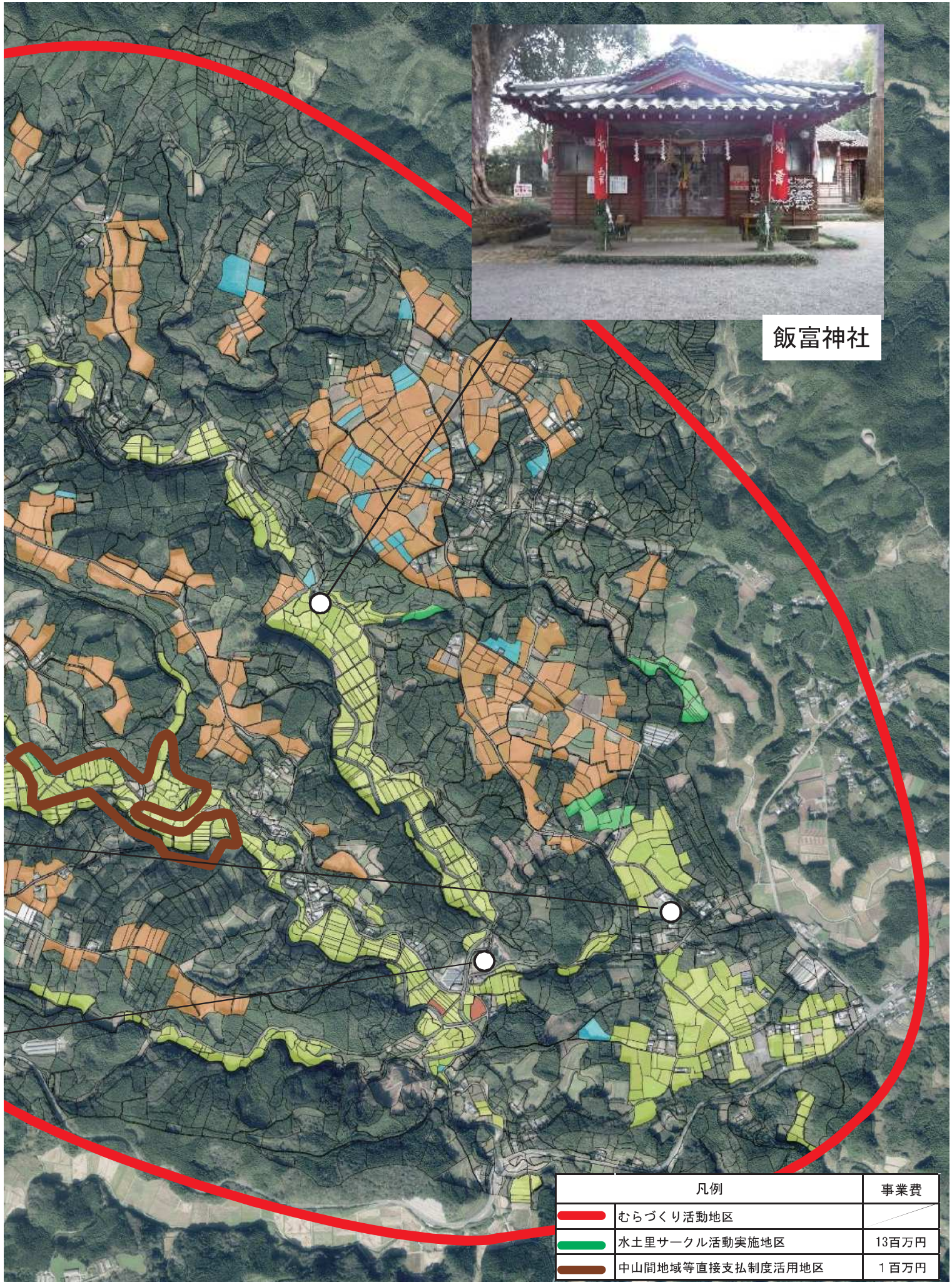
佳例川地区公民館

かれがあの焼酎屋





飯富神社



※水土里サークル活動実施地区は、当むらづくり活動地区をすべて含みます。